



**HONDA**  
Honda Mobilityland

Honda Mobilityland

# Sustainability and Economy Report 2024 Ver.2 (2024年11月発行)



**HONDA**  
Honda Mobilityland

## contents

第1章  Honda Mobilityland 概要

第2章  モビリティリゾートもてぎのサステナビリティ

第3章  FORMULA 1 JAPANESE GRAND PRIXのサステナビリティ

第4章  FORMULA 1 JAPANESE GRAND PRIXの経済波及効果

## 第1章

# Honda Mobilityland概要

ホンダモビリティランド株式会社は、鈴鹿サーキット、モビリティリゾートもてぎの2つのレーシングコースを有する総合アミューズメント施設を運営し、モータースポーツイベントの開催と幅広いモビリティ関連事業を運営しています。  
1961年の創業以来、モビリティ文化の醸成とモータースポーツ振興、人材育成の実践フィールドとして歩んでいます。



## 鈴鹿サーキット

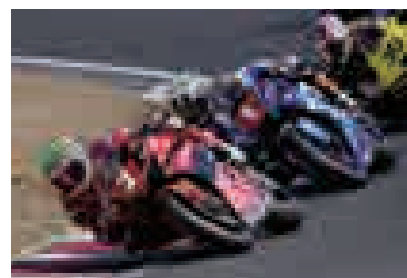
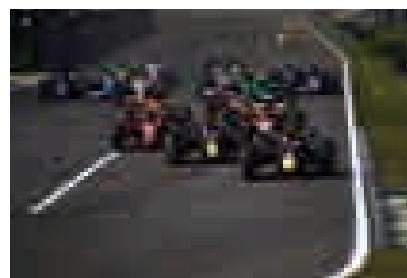
1962年、日本初の本格的なレーシングコースとして誕生し、モータースポーツの発展に貢献し続けてきました。モータースポーツを核にしたエンターテインメントを提供し子どもから大人まで、世界中の人を惹きつけ、モビリティによる「感動」を提供します。

### 主なレース

FORMULA 1 MSC CRUISES  
JAPANESE GRAND PRIX 2024

2024 FIM 世界耐久選手権“コカ・コーラ”  
鈴鹿8時間耐久ロードレース 第45回大会

など



### 主な施設



#### 鈴鹿サーキットパーク

3歳から一人で操ることができるアトラクションが豊富な、乗り物がテーマの遊園地です。乗り物を自ら操る体験を通して親子で成長を実感できます。



#### 交通教育センター

交通安全の基本は人である「人間教育」のテーマのもと、知識・技能・経験のスキルアップを目標に、安全運転教育に取り組んでいます。



## モビリティリゾートもてぎ

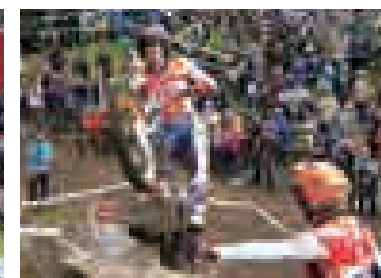
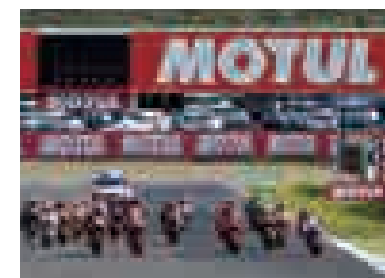
1997年、人と自然とモビリティの融合をテーマにオープン。レーシングコースに加え、自然体験施設や安全運転普及施設を備え持つモビリティリゾートもてぎは、自然豊かな環境を活かしたアクティビティと持続可能性の両立によってモビリティ文化の創造とさらなる発展を目指します。

### 主なレース

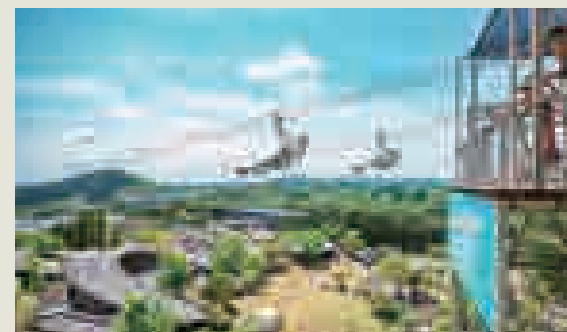
2024 FIM MotoGP™ 世界選手権シリーズ  
第18戦 日本グランプリ

2024 Hertz FIM トライアル世界選手権  
第1戦 大成ロテック日本グランプリ

など

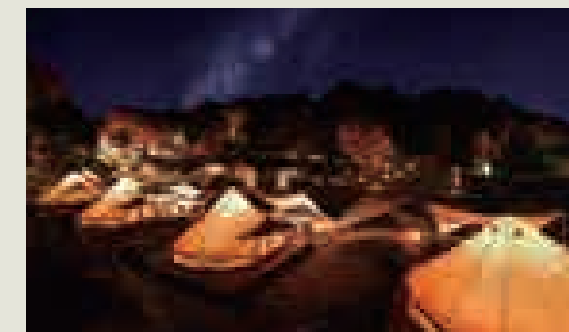


### 主な施設



#### ハローウツズ

植物や昆虫などの生き物を観察する自然フィールドや、森の自然素材を使った工房、熱気球など、親子で楽しめる自然体験プログラムが充実し、さまざまな「遊び」と「学び」を体験できます。



#### 森と星空のキャンプヴィレッジ

四季を通じて自然の中でくつろぎ、極上のアウトドアが楽しめるグランピング施設です。



# モビリティが描く未来

ホンダモビリティランドはモビリティを通じたサービスにより持続可能な未来づくりに貢献します。あらゆる企業や地域の人々とともに、地球環境や社会課題の解決に取り組みます。

## 環境

- ☑ エネルギー負荷を低減するインフラとサービスを提供します
- ☑ リサイクルを促進し廃棄物抑制によって自然環境を保護します

## 人・企業

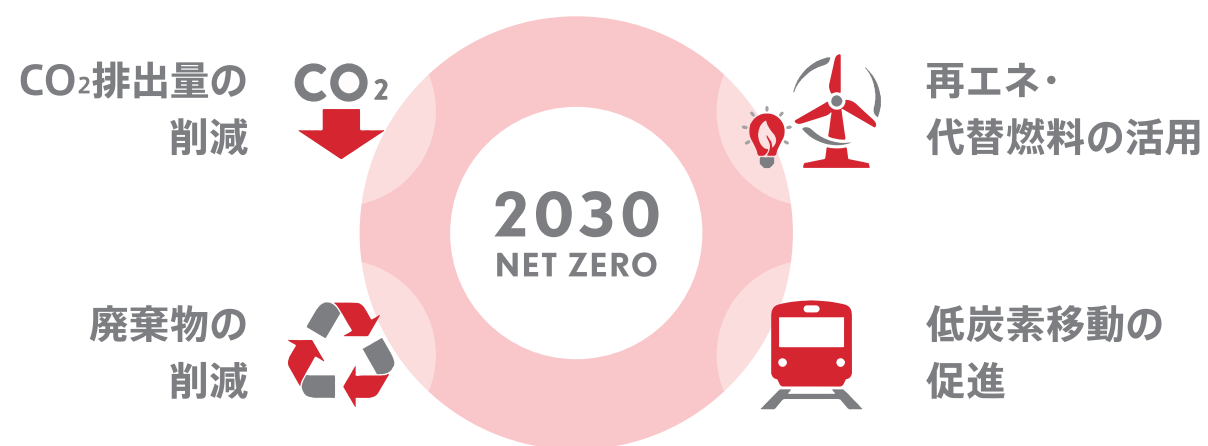
- ☑ あらゆる人の参画を可能にするサービスを提供します
- ☑ モビリティを軸とした実践フィールドとしてあらゆる企業と連携します

## 地域社会

- ☑ 人の移動と交流を活性化する機会を提供します
- ☑ 地域資源活用により雇用・経済へ貢献します

# 持続可能な未来づくりへ

ホンダモビリティランドは、モビリティ文化の醸成とモータースポーツ振興、人材育成の実践フィールドを活かして、地球環境や社会課題への対応に取り組めます。



## カーボンニュートラルに向けて

中核事業であるモータースポーツイベント開催に関わる温室効果ガスの排出量削減に取り組み、2030年にカーボンニュートラルを目指します。



### 国際自動車連盟(FIA) 環境認証プログラム 3つ星を獲得

FIA環境認証プログラムは、世界中のモータースポーツと自動車産業のステークホルダーの環境対応を格付けするプログラムです。鈴鹿サーキットは「環境配慮に対して優れた活動を行い、環境マネジメントにおいては国際的なロードマップに即することが期待できる」として、2024年に最上位となる3つ星を獲得しました。



### 三重県SDGs 推進パートナー

鈴鹿サーキットは三重県において持続可能な社会の実現に向けた取組を広げていくことを目的とした「三重県SDGs推進パートナー」に登録されました。



### 30by30 自然共生サイト

2023年にモビリティリゾートもてぎは、環境省の定める生物多様性の保全区域「自然共生サイト」として認定を受けました。自然共生サイトは「民間の取組等によって生物多様性の保全が図られている区域」を国が認定するものであり、認定区域はOECM\*として国際データベースに登録されます。

\* Other Effective area-based Conservation Measuresの略。  
民間等の取組により保全が図られている地域や、保全を目的としない管理が結果として自然環境を守ることにも貢献している地域



### とちぎSDGs 推進企業

2023年、モビリティリゾートもてぎは、トライアル世界選手権、MotoGP™においてSDGs達成に向けた取組を推進する「とちぎSDGs推進企業登録制度」に登録されました。

## 第2章 モビリティリゾートもてぎの サステナビリティ

### 自然との共存

モビリティリゾートもてぎは、“人・自然・モビリティの融合”をテーマに、20年以上前から環境保護や生物多様性に着目し持続可能な社会の実現に取り組んでいます。

### 42ヘクタールの生命溢れる森

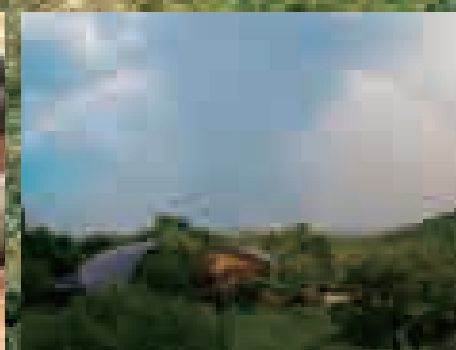
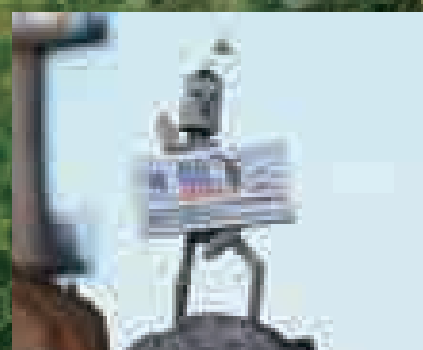
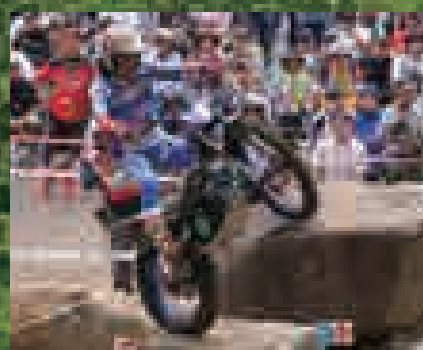
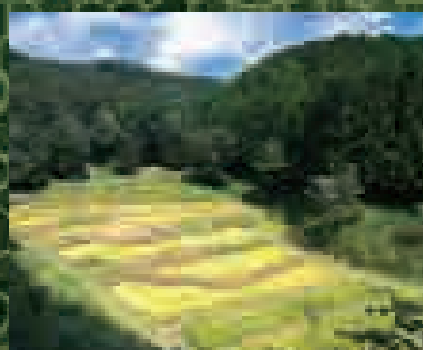
# HELLO WOODS

モビリティリゾートもてぎの敷地65%に及ぶ森には多くの鳥類・昆虫・植物が生息し、豊かな自然環境が広がっています。

放置された山々を人の手によって管理する“里山”に戻す「森の再生プロジェクト」により、生物種は2,500種から5,800種まで拡大しました。

#### 森づくりの歴史

|       |                                                                   |
|-------|-------------------------------------------------------------------|
| 1997年 | モビリティリゾートもてぎ(旧ツインリンクもてぎ)開業<br>“HELLO WOODS”立ち上げに向けた「森の再生プロジェクト」始動 |
| 2000年 | “HELLO WOODS”開業                                                   |
| 2002年 | 「30泊31日夏のガキ大将の森キャンプ」スタート                                          |
| 2003年 | 「森づくりワークショップ」スタート                                                 |
| 2005年 | 森林の萌芽更新と毎木調査によるモニタリングを開始                                          |
| 2008年 | 環境省「重要生態系監視地域モニタリング推進事業」に登録                                       |
| 2021年 | 栃木県から環境教育を促進する「体験の機会の場」に認定<br>環境省の定める生物多様性の保全区域「自然共生サイト」認定        |

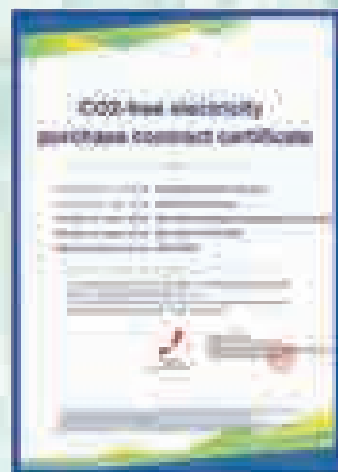


# 森を活かした多様なサステナビリティ

モビリティリゾートもてぎでは、モビリティと 森から得られる楽しみや喜びの体験を通して  
人が成長する“人づくり”の観点から、独自の取り組みを行っています。

## ✓ グリーン電力の使用

レース開催時はCO<sub>2</sub>フリー電気を使用し、施設全体を年間555,000kWhにおよぶ電力でまかいます。



## ✓ 環境に配慮した競技運営

FIMトライアル選手権 日本グランプリでは、競技セクションに周辺企業提供による製品にならない石材や、HELLO WOODSや周辺地域の間伐材を使用しています。またコースを区画するセクションテープは、生分解性のテープを使用しています。



## ✓ RIDE GREEN キャンペーン

国際モーターサイクリズム連盟(FIM)の環境保護プログラム「KISS PROGRAM(Keep It Shiny & Sustainableの略)」の一環として行われる「RIDE GREENキャンペーン」では、競技セクションに苗木を植樹するなど、レースにおける環境保全活動に取り組んでいます。



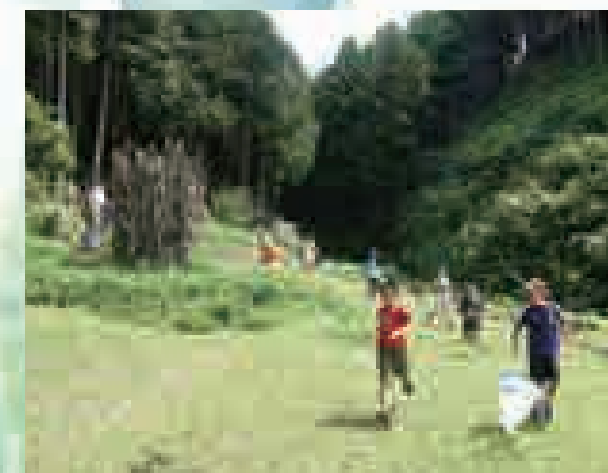
## ✓ 生物多様性とCO<sub>2</sub>吸収

人の手によって管理された里山は、荒廃した森より約3～5倍のCO<sub>2</sub>吸収力を誇ります。さらに、モビリティリゾートもてぎは広葉樹林が森林の半数以上を占め、棚田や草地を整えることで生物多様性を意識した森づくりに取り組んでいます。



## ✓ 森づくりと人づくり 〈ガキ大将の森キャンプ〉

自然体験施設「HELLO WOODS」では夏休み期間、親元を離れ全国から集まった約20人の子どもたちが30泊31日を森の中で過ごす「ガキ大将の森キャンプ」を開催します。里山の自然の中でテントを張り、火を熾し、生活を共にすることで、自立心や想像力を育み大きく成長します。

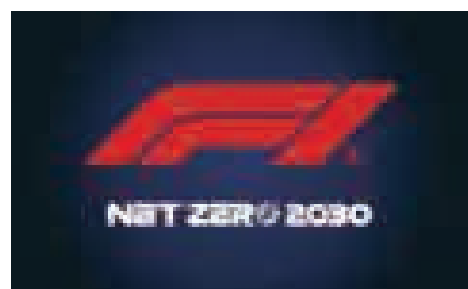


## ✓ 地域の参画 〈森と里のつながるマルシェ〉

地元・茂木町の有機農家やカフェ、クラフト作家らが一堂に会するマルシェでは、周辺の里山で採れた有機野菜や陶芸品などの販売に加え、ワークショップを開催し地域のコミュニティを形成しています。



## 第3章 FORMULA 1 JAPANESE GRAND PRIXのサステナビリティ



### F1® Net Zero by 2030

F1®はグループを含むより広域なスポーツ領域で、CO<sub>2</sub>などの温室効果ガスを2030年までにネットゼロにする計画を2019年に発表しました。

※主要なスポーツ連盟や世界的なスポーツイベントが2040年のカーボンニュートラルを目指している中、F1®は先駆けて2030年での実施を目指しています。

## F1®は世界を巡る モータースポーツの頂点

- ✓ モータースポーツの頂点に位置し、世界中で人気が急拡大している世界選手権
- ✓ 30回以上開催しているGrand Prix™は、アジアでは鈴鹿サーキットのみ
- ✓ F1®は日本企業も数多く参画し、日本の技術・ブランディングの発展に貢献



### 2024年 F1® 世界選手権は21国で全24戦を開催

|         | グランプリ                     | 開催日         | サーキット                              |
|---------|---------------------------|-------------|------------------------------------|
| Race 1  | BAHRAIN GRAND PRIX        | 2/29-3/2    | BAHRAIN INTERNATIONAL CIRCUIT      |
| Race 2  | SAUDI ARABIA GRAND PRIX   | 3/7-3/9     | JEDDAH CORNICHE CIRCUIT            |
| Race 3  | AUSTRALIA GRAND PRIX      | 3/22-3/24   | ALBERT PARK CIRCUIT                |
| Race 4  | JAPANESE GRAND PRIX       | 4/5-4/7     | SUZUKA INTERNATIONAL RACING COURSE |
| Race 5  | CHINESE GRAND PRIX        | 4/19-4/21   | SHANGHAI INTERNATIONAL CIRCUIT     |
| Race 6  | MIAMI GRAND PRIX          | 5/3-5/5     | MIAMI INTERNATIONAL AUTODROME      |
| Race 7  | EMILIA-ROMAGNA GRAND PRIX | 5/17-5/19   | AUTODROMO ENZO E DINO FERRARI      |
| Race 8  | MONACO GRAND PRIX         | 5/24-5/26   | CIRCUIT DE MONACO                  |
| Race 9  | CANADA GRAND PRIX         | 6/7-6/9     | CIRCUIT GILLES-VILLENEUVE          |
| Race 10 | SPAIN GRAND PRIX          | 6/21-6/23   | CIRCUIT DE BARCELONA-CATALUNYA     |
| Race 11 | AUSTRIA GRAND PRIX        | 6/28-6/30   | RED BULL RING                      |
| Race 12 | BRITISH GRAND PRIX        | 7/5-7/7     | SILVERSTONE CIRCUIT                |
| Race 13 | HUNGARY GRAND PRIX        | 7/19-7/21   | HUNGARORING                        |
| Race 14 | BELGIUM GRAND PRIX        | 7/26-7/28   | CIRCUIT DE SPA-FRANCORCHAMPS       |
| Race 15 | DUTCH GRAND PRIX          | 8/23-8/25   | CIRCUIT ZANDVOORT                  |
| Race 16 | ITALY GRAND PRIX          | 8/30-9/1    | AUTODROMO NAZIONALE MONZA          |
| Race 17 | AZERBAIJAN GRAND PRIX     | 9/13-9/15   | BAKU CITY CIRCUIT                  |
| Race 18 | SINGAPORE GRAND PRIX      | 9/20-9/22   | MARINA BAY STREET CIRCUIT          |
| Race 19 | UNITED STATES GRAND PRIX  | 10/18-10/20 | CIRCUIT OF THE AMERICAS            |
| Race 20 | MEXICO GRAND PRIX         | 10/25-10/27 | AUTÓDROMO HERMANOS RODRÍGUEZ       |
| Race 21 | BRAZIL GRAND PRIX         | 11/1-11/3   | AUTÓDROMO JOSÉ CARLOS PACE         |
| Race 22 | LAS VEGAS GRAND PRIX      | 11/21-11/23 | LAS VEGAS STRIP CIRCUIT            |
| Race 23 | QATAR GRAND PRIX          | 11/29-12/1  | LUSAIL INTERNATIONAL CIRCUIT       |
| Race 24 | ABU DHABI GRAND PRIX      | 12/6-12/8   | YAS MARINA CIRCUIT                 |

(参照) <https://www.formula1.com/en/racing/2024>

# サステナブルな Grand Prix™ へ

JAPANESE GRAND PRIXはファンや関係者の皆様と共に、  
モータースポーツを楽しみながら持続可能性を高める、  
集客スポーツの新しい形に挑戦します。

## 4つの視点



ファンの移動 > 17P



エネルギー > 20P



廃棄物 > 21P



地域社会 > 22P



2024年 春開催

F1®が世界を転戦する際に発生する温室効果ガスの削減に向けて、ホンダモビリティランドは高効率なロジスティクスを実現する開催日程への変更に協力するために、JAPANESE GRAND PRIXの開催スケジュールを秋から4月に変更しました。

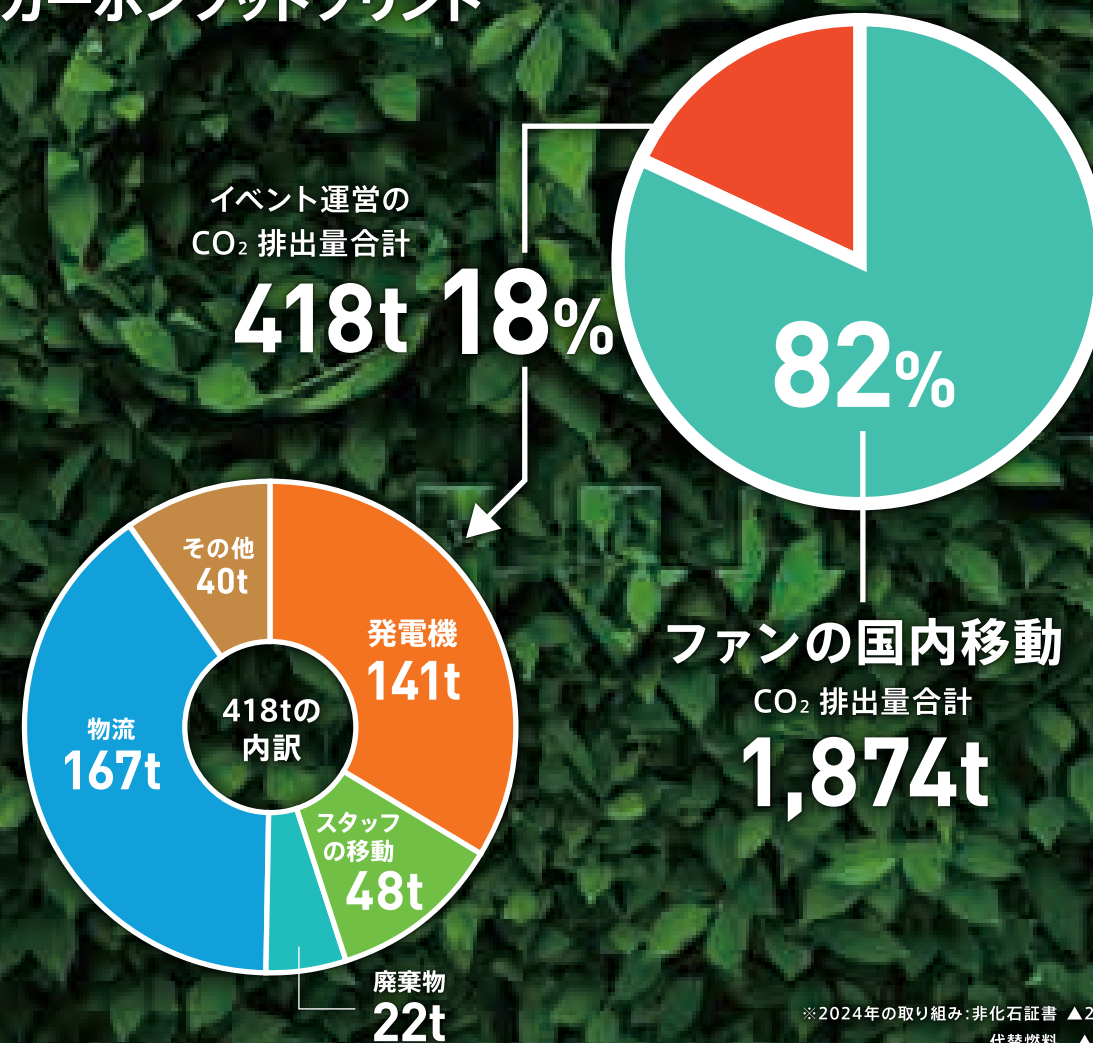
## CO<sub>2</sub>排出量に占める割合

# 82%

JAPANESE GRAND PRIXでは、レース開催によるCO<sub>2</sub>排出量を調査し、  
ファンの移動が大きく影響していることが分かりました。

JAPANESE GRAND PRIXでは開催に伴う温室効果ガスの排出量を把握しています。

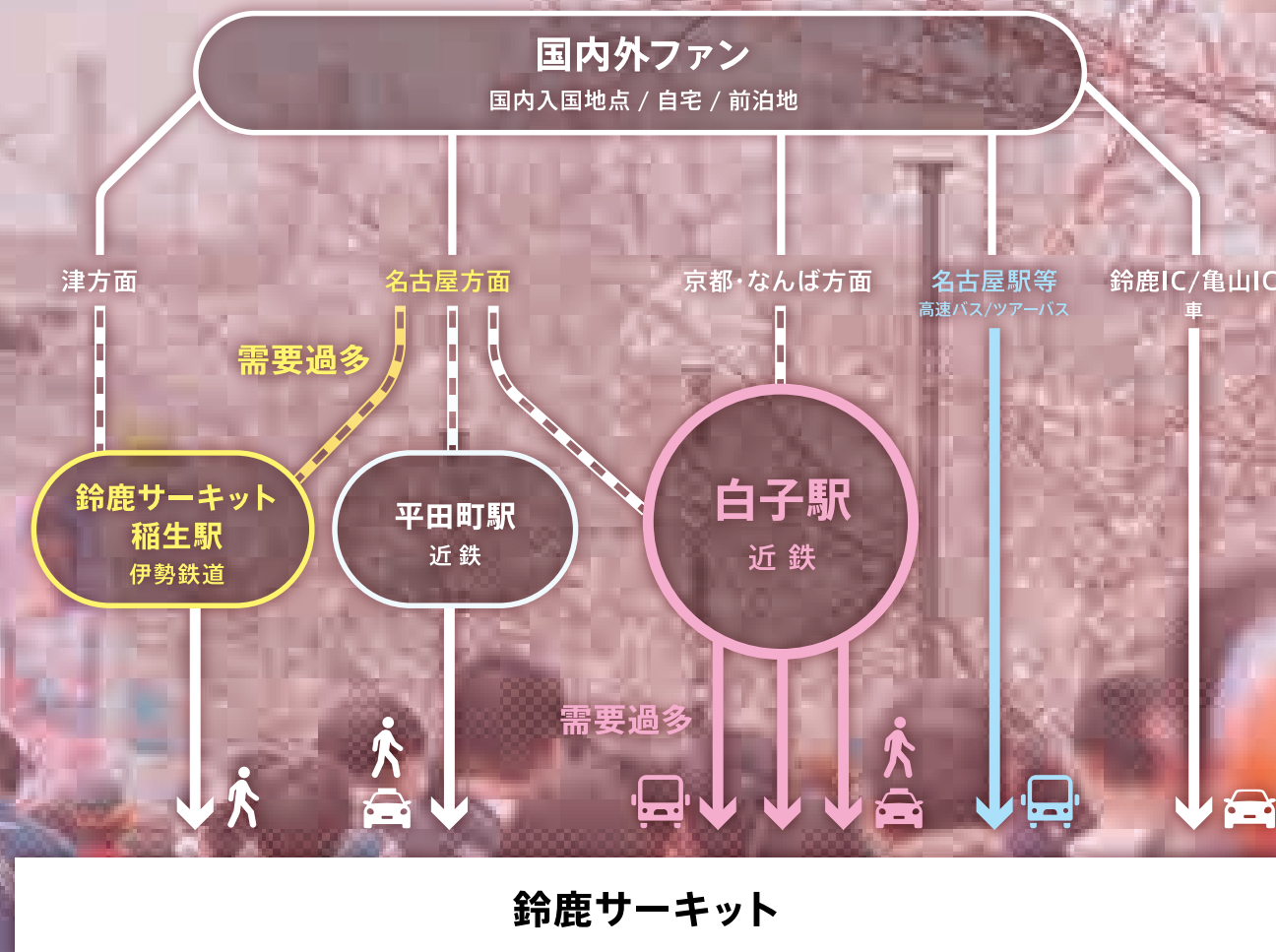
### 2024 JAPANESE GRAND PRIX カーボンフットプリント



公共交通機関の利用を促すことで、CO<sub>2</sub>排出量の低減を目指しています。

# ファンの移動の把握

CO<sub>2</sub>排出削減に向けた公共交通機関の利用促進において、お客様の需要とサービス供給の均衡を保つ取り組みを行っています。



公共交通機関の輸送力を高めることで、改善していきます

- ✓ 名古屋方面から鈴鹿サーキット稲生駅までの輸送
- ✓ 白子駅から鈴鹿サーキットまでの臨時シャトルバス輸送
- ✓ 主要駅(名古屋駅、新大阪駅、京都駅、津駅、亀山駅等)からの直行バス輸送

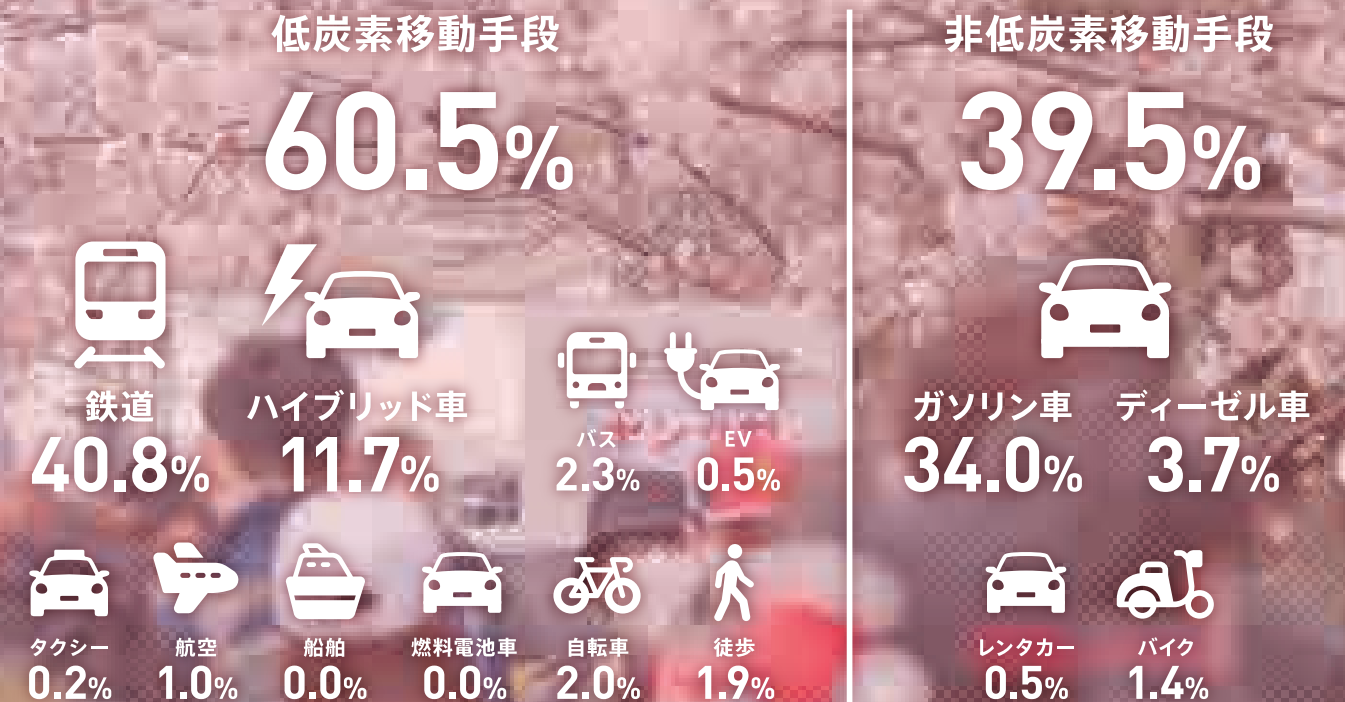
## 交通手段

# 36 団体と連携

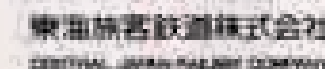
国や自治体、公共交通機関など36団体で構成される、鈴鹿F1®日本グランプリ地域活性化協議会と協力し、カーボンオフセットに貢献できる取り組みを推進しています。

自宅又は入国地点から鈴鹿サーキットまでのインバウンドを含む主な交通手段

(2024 JAPANESE GRAND PRIX 来場者アンケート)



### 鈴鹿F1®日本グランプリ地域活性化協議会



など

※鈴鹿F1®日本グランプリ地域活性化協議会は、鈴鹿市をはじめ官民36団体から構成され、F1®開催の影響を最小化し、観戦に訪れた方々が快適に楽しめるよう、様々な取り組みを進めています。

モータースポーツエリアの  
常用電力再生可能エネルギー

100%

主要なモータースポーツイベントにおいて、CO<sub>2</sub>フリーのグリーン電気を使用しています。  
JAPANESE GRAND PRIXでは、エネルギー消費量を削減し、  
2030年までに全ての電力を再生可能エネルギー100%にすべく、取り組んでいます。

JAPANESE GRAND PRIX

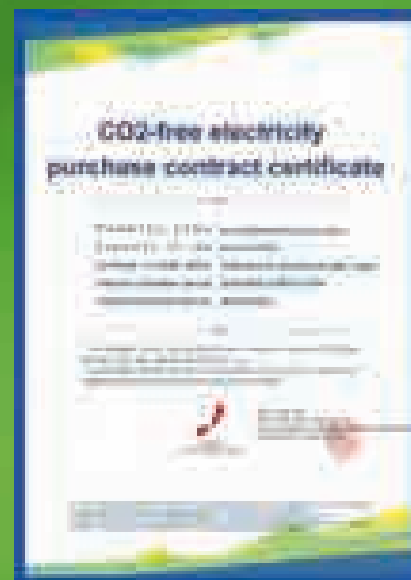
CO<sub>2</sub>フリー電気購入

330,910kWh

※準備期間含む22日間

ホンダモビリティランドでは、  
主要なモータースポーツイベントに関する  
電力分としてCO<sub>2</sub>フリー電気を使用しています。

〈鈴鹿サーキット〉  
CO<sub>2</sub>フリー電気 970,000kWh/1年



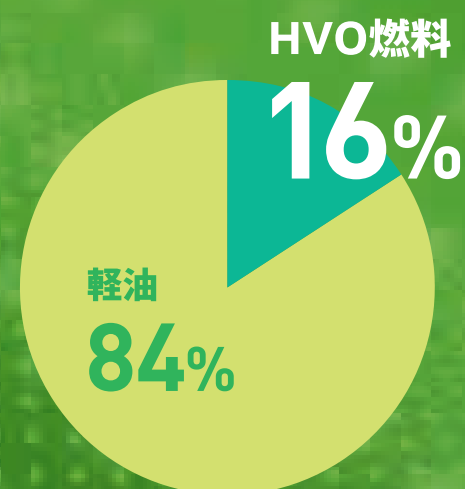
Non-fossil certificate (970MWh/year)

パドックでの  
HVO燃料使用率

16%

☑ HVO燃料とは

水素化植物油 (Hydrotreated Vegetable Oil) と呼ばれる  
化石資源なしで生産可能なバイオ燃料です。

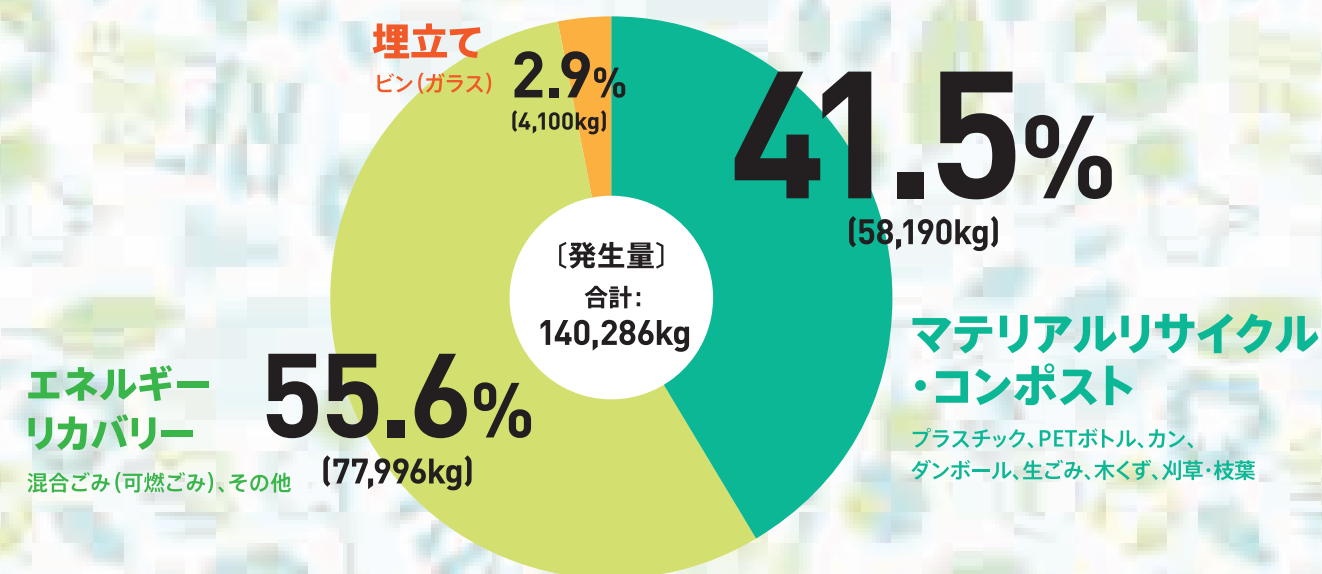


## 資源リサイクル

41.5%

使い捨てプラスチックの提供ゼロと、分別によるリサイクル率の向上に取り組んでいます。

2024年のJAPANESE GRAND PRIXに関して廃棄物の発生状況及び  
リサイクルの実施状況を把握しました。



エリア別の発生量 (kg)

| エリア                                 | 分別収集区分     | 発生量     | 処理方法  |
|-------------------------------------|------------|---------|-------|
| パドック                                | 混合ごみ(可燃)   | 32,120  | 熱回収   |
|                                     | プラスチック     | 1,050   | リサイクル |
|                                     | PETボトル     | —       | リサイクル |
|                                     | カン         | 3,723   | リサイクル |
|                                     | ビン(ガラス)    | 3,187   | 埋立て   |
|                                     | ダンボール      | 13,510  | リサイクル |
|                                     | 木くず        | 4,420   | リサイクル |
|                                     | 生ごみ        | 10,700  | 堆肥化   |
|                                     | その他        | 18,620  | 熱回収等  |
|                                     | 合計         | 87,330  |       |
| モータースポーツ<br>エリア(パドック除く)<br>及びパークエリア | 混合ごみ(可燃ごみ) | 27,256  | 熱回収   |
|                                     | プラスチック     | 20      | リサイクル |
|                                     | PETボトル     | 1,800   | リサイクル |
|                                     | カン         | 1,067   | リサイクル |
|                                     | ビン(ガラス)    | 913     | 埋立て   |
|                                     | ダンボール      | 7,110   | リサイクル |
|                                     | 刈草・枝葉      | 14,790  | リサイクル |
|                                     | 合計         | 52,956  |       |
| 全エリア                                | 合計         | 140,286 |       |

## JAPANESE GRAND PRIX取引実績

455企業

地元の企業との取引を積極的に行うとともに、  
地元の素材を活用したオリジナル商品を開発しています。

## 2024年取引実績

【企業数】

全体 455企業/団体

三重県 285企業/団体

※三重県＝県内に営業拠点が所在している企業

【取引高】

全体 2,310百万円

三重県 769百万円

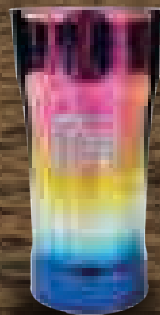
※三重県＝県内に営業拠点が所在している企業

## 三重県産品の活用例

伝統工芸品  
「伊勢型紙」を  
使用した商品



地元パーツメーカーと  
「チタンタンブラー」を  
開発



県内工場の生産や  
地元食材を原材料に  
使用したお土産商品



## 小学生とファミリーの招待数

16,657名

モータースポーツの魅力に触れる機会を創出し、  
地域産業への理解と興味喚起を促します。

## 2024年実施内容

## 5市1町お子様ご招待

F1®地域活性化協議会と連携し、6市町のお子様連れファミリーを木曜日と金曜日にご招待。(鈴鹿市、四日市市、津市、亀山市、桑名市、菰野町)

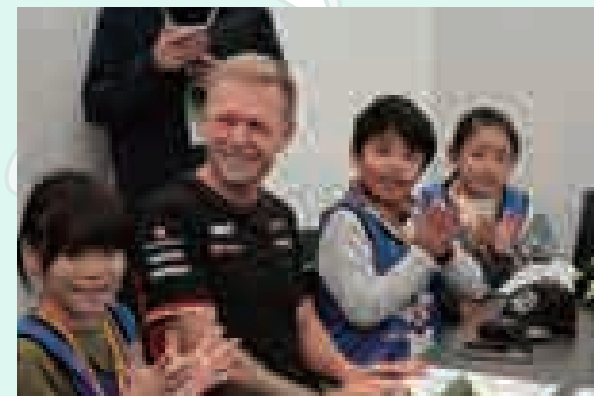
〈招待数 16,627名〉

## 鈴鹿市内の小学生を対象としたチーム交流

抽選で選ばれた鈴鹿市内の小学生30名がF1ドライバーとの交流授業に参加。

〈受入チーム〉

Visa Cash App RB Formula One Team  
Aston Martin Aramco F1 Team  
MoneyGram Haas F1 Team



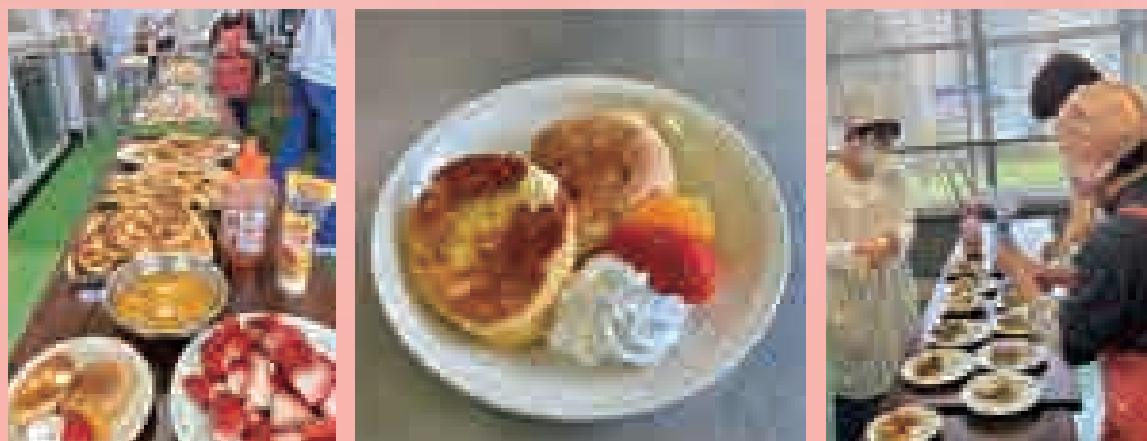
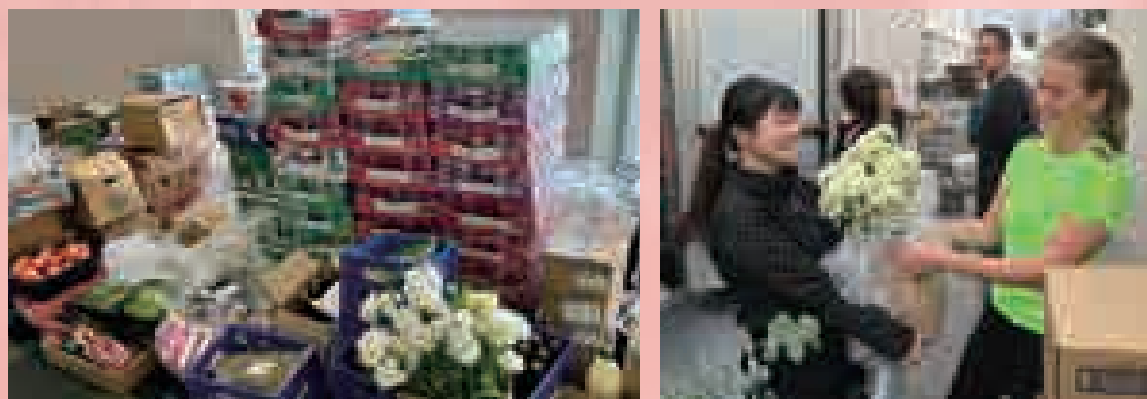
主催：鈴鹿市、鈴鹿F1®日本グランプリ地域活性化協議会

## フードバンク団体を通じた寄付

2.8トン

## 2024年実施内容

三重県が管理するフードバンク団体への提供事業者に登録したホンダモビリティランドは、各チームやホスピタリティエリアのキッチンより回収した余剰食品(約2.8トン)を、周辺4市のフードバンク団体(14団体)を通じて、こども食堂などに寄付しました。



JAPANESE GRAND PRIXでは、  
学生のインターンシップを受け入れ、  
グローバルイベントに関わる機会を  
提供しています。

## 神田外語学院インターンシップ

〈内容〉 外国人来場者のアテンド・インタビュー調査

〈参加者〉 10名

## 大阪ホテル・観光 &amp; ウェディング専門学校インターンシップ

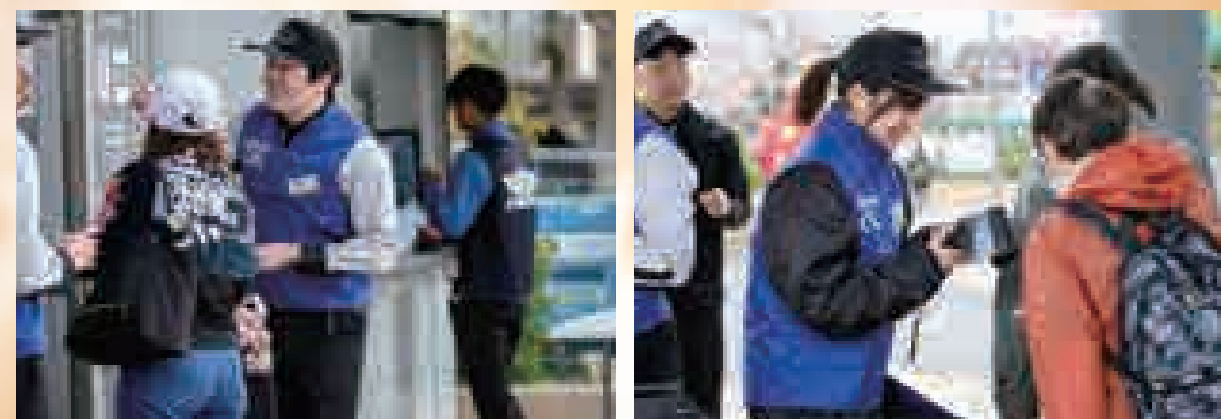
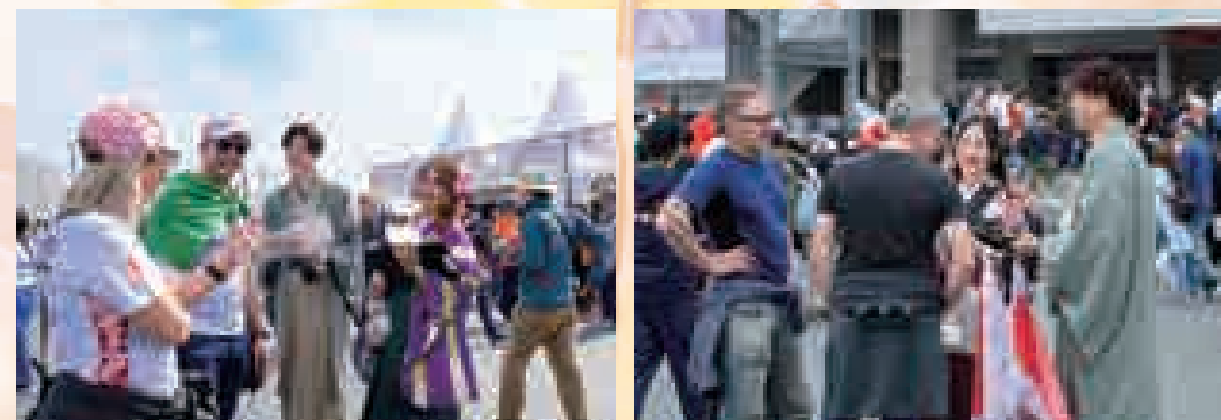
〈内容〉 インフォメーション業務を通じたグローバルイベントの理解促進

〈参加者〉 10名

## 三重大学との産学連携協定に基づいた派遣

〈内容〉 チームやプロモーターからの問い合わせ・要望対応、職員補助

〈参加者〉 5名



## 第4章 FORMULA 1 JAPANESE GRAND PRIXの経済波及効果

### 世界的企業の参画と影響力

F1®には、10のグローバルパートナー企業に加え、ローカルパートナーなど多数の企業が参画し、地域経済や自動車産業に大きな影響を与えています。

F1®

グローバルパートナー



2023シーズン累計視聴者数

15.4億人

2023  
F1®ファン数

7億人



☑ 女性ファンが40%

2023

累計現地来場者数

597万人



☑ 2022 568万人から+29万人アップ

2023

SNSフォロワー数

7000万人



☑ 2022 6000万人から+1000万人アップ

2023

WEB・APPユーザー

1.06億人



2023

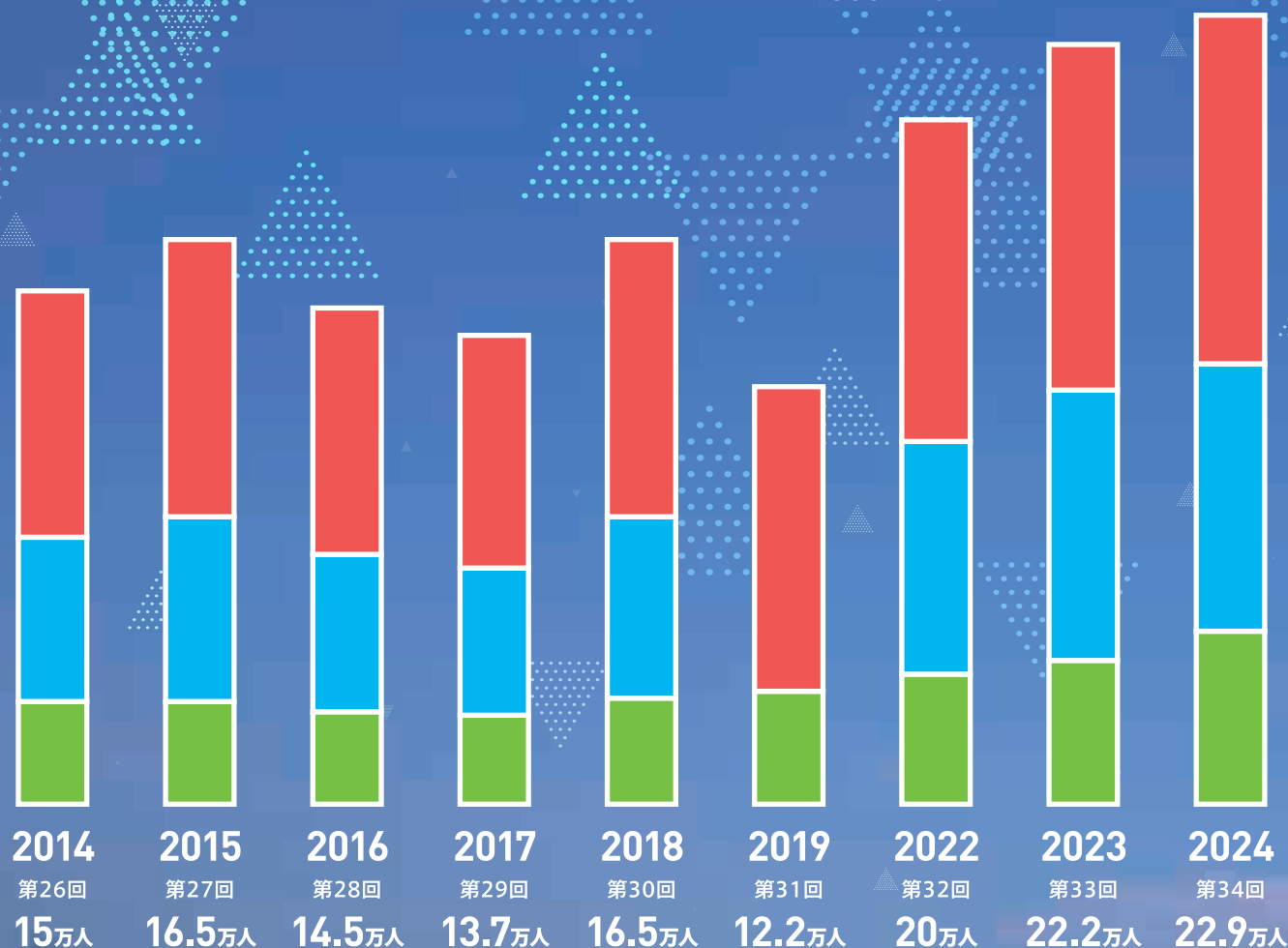
放送エリア

185カ国

JAPANESE GRAND PRIXは  
人気投票で  
世界TOP5にランクインイタリア  
Italiaベルギー  
Belgiumイギリス  
UKモナコ  
Monaco日本  
Japan2021年に世界187カ国  
167,302名を対象に行われた  
F1®のマーケティングレポート出典: FORMULA 1® in 2021 Management Report(motorsports NETWORK), P.24  
<https://cdn-1.motorsport.com/survey/2021/2021-f1-global-fan-survey-motorsportnetwork.pdf>

## JAPANESE GRAND PRIXの観客総動員数

延べ880万人



■ 金曜 ■ 土曜 ■ 日曜

※ 2019年は台風により、土曜日が中止となり、公式予選が日曜午前中に開催された。  
※ 2020年、2021年は新型コロナウイルス拡大のため非開催

## JAPANESE GRAND PRIXの海外観戦客

1.3倍

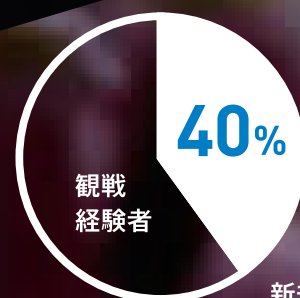
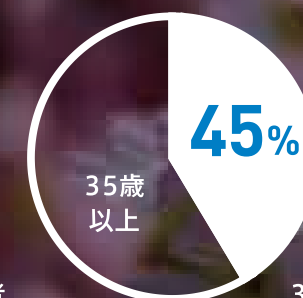
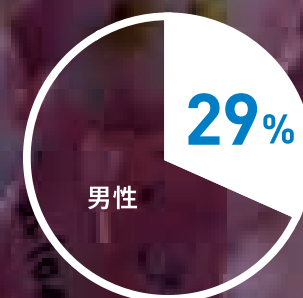
日本のインバウンド観光需要の拡大もあり、  
今後も海外からの観戦者の拡大が期待されます。

## 海外からの観戦客数

2024 約50,000名  
2023 約40,000名1.3倍  
に増加!

## F1® 全体の新規観戦者

F1®のレース観戦者数 約600万人中

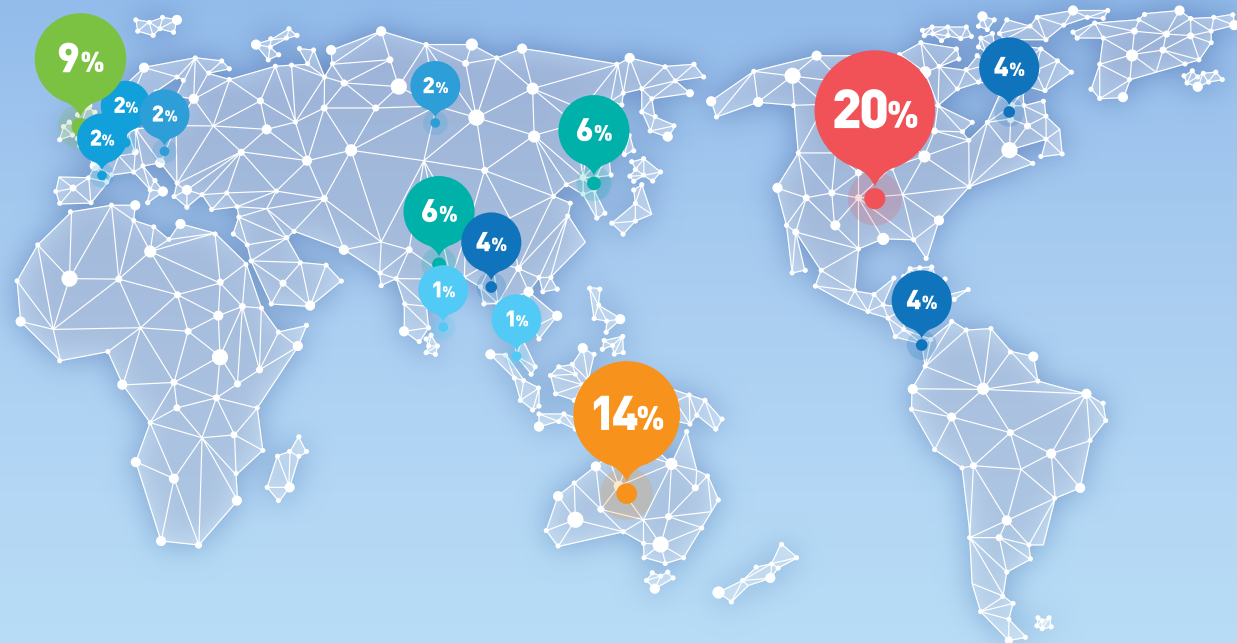
新規観戦者  
240万人35歳以下の観戦者  
270万人女性観戦者  
174万人

[JAPANESE GRAND PRIX年代別最多来場形態]

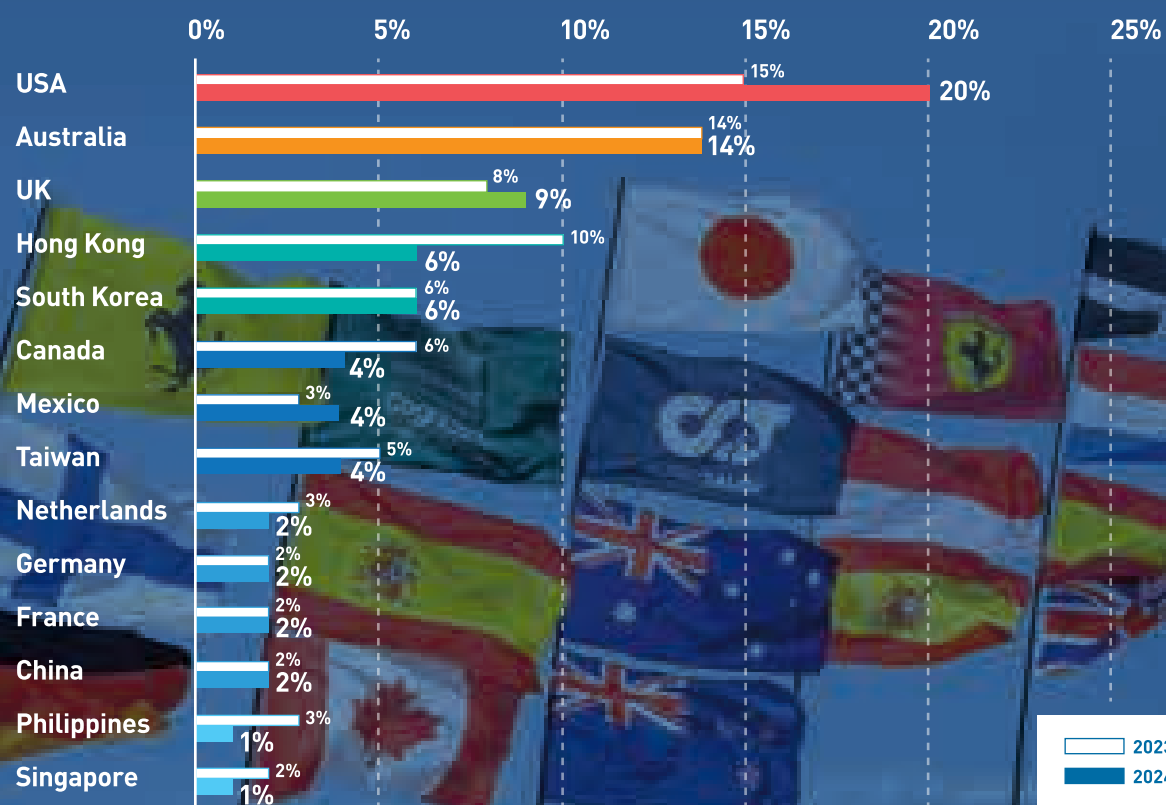
22歳以下:友人/同僚 23歳~30歳:友人/同僚 31歳~40歳:家族  
41歳~50歳:家族 51歳以上:パートナー

# アジア・アメリカから注目される JAPANESE GRAND PRIX

F1®の世界的な人気拡大にともない北米・東アジア・オセアニアから  
JAPANESE GRAND PRIXへの来場が急成長しています。



JAPANESE GRAND PRIX海外観戦者の国別来場比率



\* 出典: 2023/2024 JAPANESE GRAND PRIX 来場者アンケート / FORMULA 1 JAPANESE GRAND PRIX 2023/2024 Spectator Research

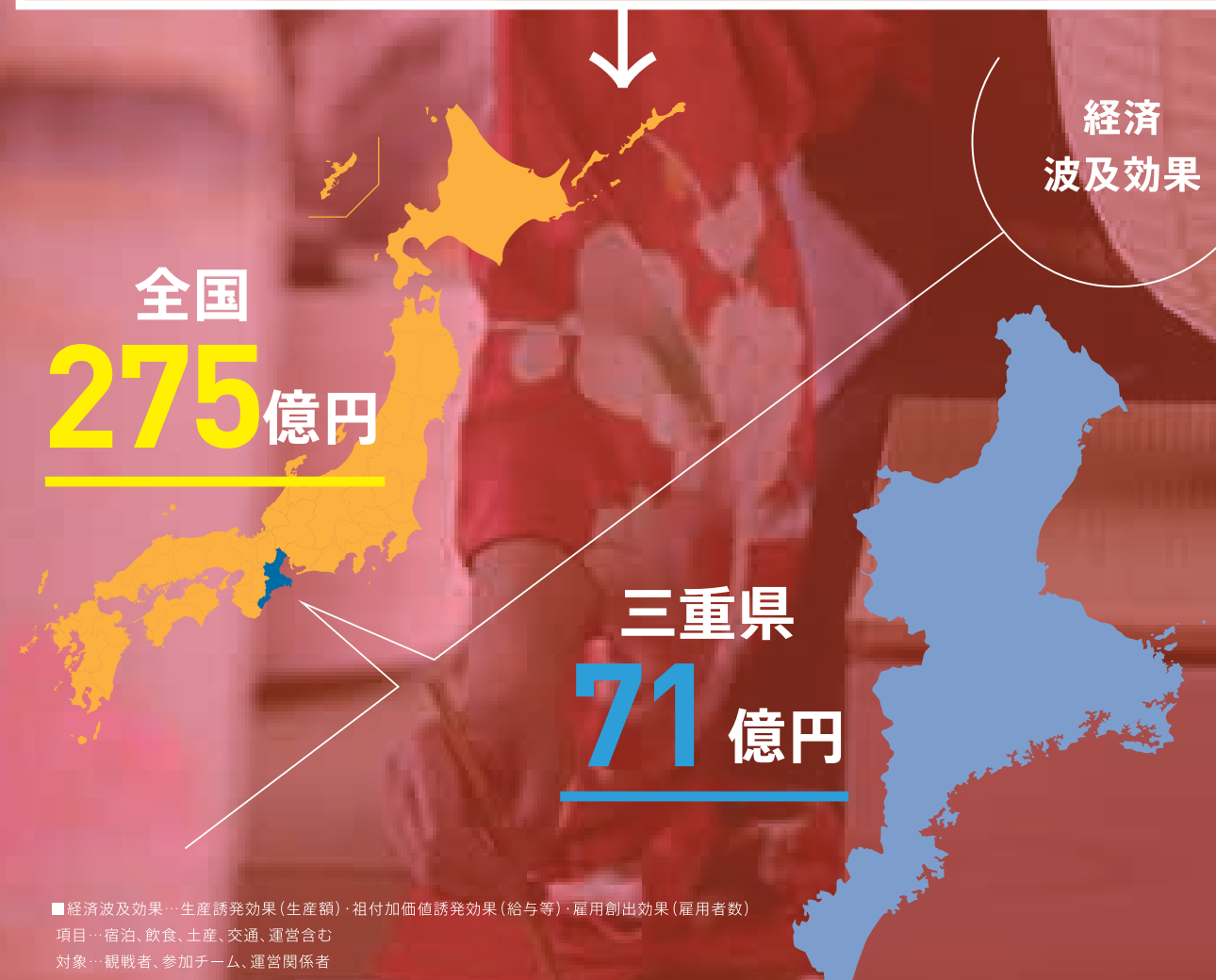
## 経済波及効果

# 275<sup>(全国)</sup> 億円

F1®開催による経済波及効果は約275億円に上り、  
毎年開催することで大きな経済効果を日本にもたらします。

### 2024年のJAPANESE GRAND PRIX開催における経済波及効果

|     | 直接効果  | 間接効果  | 雇用創出効果 |
|-----|-------|-------|--------|
| 全国  | 128億円 | 148億円 | 2,042人 |
| 三重県 | 48億円  | 23億円  | 638人   |



■経済波及効果…生産誘発効果(生産額)・相付加価値誘発効果(給与等)・雇用創出効果(雇用者数)  
項目…宿泊、飲食、土産、交通、運営含む  
対象…観戦者、参加チーム、運営関係者  
算出…ホンダモビリティランドが提示した設定条件の下、取得できたデータ範囲内で三菱総合研究所が算出。

海外からのF1<sup>®</sup>観戦客  
1人あたりの平均消費額  
**611,717円**



JAPANESE GRAND PRIX観戦客の消費は、  
訪日外国人平均よりも軒並み高額。

### 一人あたりの滞在期間中消費額

※観戦券代除く

5.5倍

国内在住者  
110,445円

海外在住者  
611,717円

2.9倍

1人当たりの旅行支出  
訪日外国人平均  
212,764円\*

### JAPANESE GRAND PRIX観戦客の 1人あたりの項目別消費金額

|       | 交通費     | 宿泊費      | 飲食費     | 買物      | 観戦券     |
|-------|---------|----------|---------|---------|---------|
| 国内観戦客 | 29,480円 | 27,500円  | 26,620円 | 26,845円 | 36,911円 |
| 海外観戦客 | 47,670円 | 452,972円 | 44,351円 | 66,723円 | 46,576円 |
| 訪日平均  | 24,078円 | 73,674円  | 47,981円 | 56,098円 |         |

※「娯楽・サービス費」  
訪日平均は10,838円  
※経済波及効果からは  
除く

\* 出典：観光庁 訪日外国人消費動向調査2023年  
2024 JAPANESE GRAND PRIX 来場者アンケート

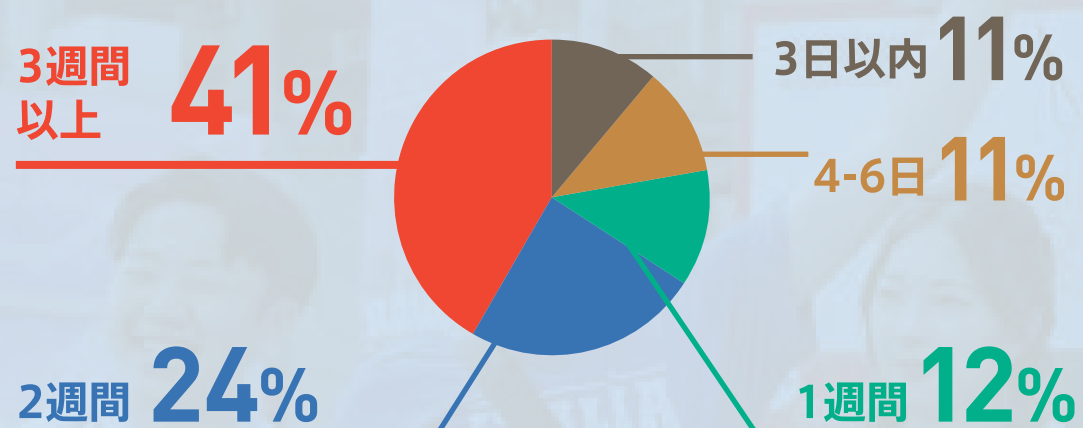
海外からのF1<sup>®</sup>観戦客

国内での7日間以上の滞在率

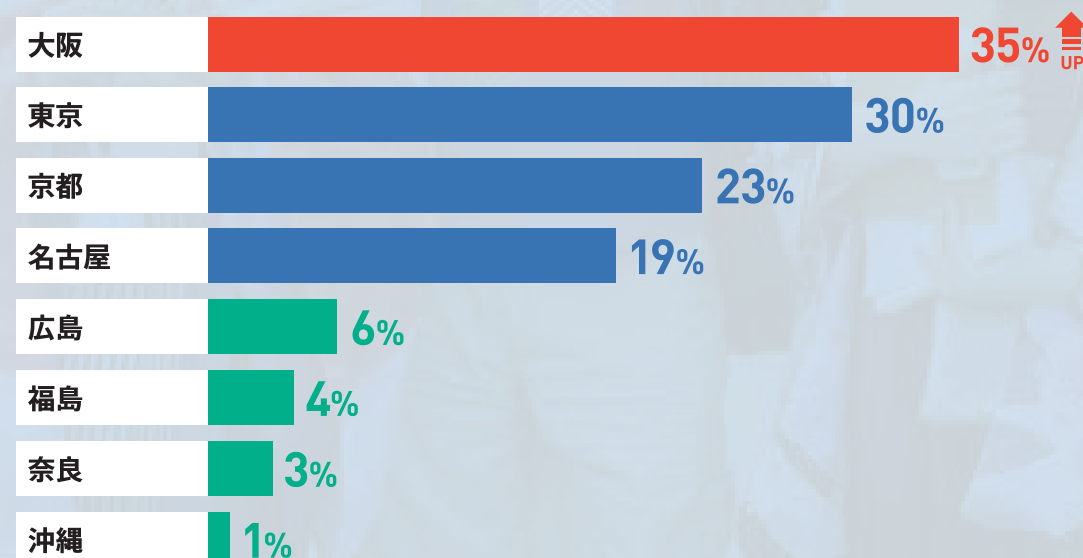
**77%**

海外観戦客の77%が国内に1週間以上滞在し観光地を巡ります。  
F1<sup>®</sup>観戦をきっかけに日本の食・文化を体験しています。

### F1<sup>®</sup>海外観戦者の国内滞在日数



### F1<sup>®</sup>海外観戦者の国内の訪問先



\* 出典：2024 JAPANESE GRAND PRIX 来場者アンケート